

●コース距離：約10.8km
●歩行時間：約2時間30分

- ①JR「新橋」駅
↓0.9km
- ②金刀比羅宮
↓0.3km
- ③マッカーサー道路
↓0.6km
- ④日枝神社
↓0.8km
- ⑤弁慶橋
↓0.9km
- ⑥外濠公園
↓1.0km
- ⑦市ヶ谷橋
↓1.2km
- ⑧牛込橋
↓0.4km
- ⑨善国寺
↓2.7km
- ⑩昌平橋
↓2.0km
- ⑪JR「東京」駅

⑧牛込橋

牛込見附門とともに寛永13年(1636年)阿波徳島藩主蜂須賀忠英によって建設された橋。当時、千代田区側は番町方、新宿区側は牛込方と呼ばれ、その間が深い谷だったのを水を引いて濠とした。



⑦市ヶ谷橋

江戸城外郭門である市ヶ谷御門(市ヶ谷見附)があった場所で、この門は寛永13年(1636年)の外濠開削と同時期に築造されており、その見附橋である市ヶ谷橋も同時に架設された。



⑥外濠公園

濠に沿って飯田橋駅付近から四ツ谷駅南側までの約2kmにわたって細長く続く公園。外濠は敵や動物の進入を防ぐために設けられた防護障壁で、軍事施設の扱いだったので、明治維新以降も一般人は立ち入りが禁止されていた。



⑤弁慶橋

明治22年(1889年)にそれまで神田松枝町と岩本町との間にあった橋をここに移築。江戸城普請の大工の棟梁であった弁慶小左衛門が造った橋であることから名付けられたといわれる。



⑩昌平橋

最初に架設されたのは寛永年間(1624年~1645年)と伝えられ、「一口橋」や「芋洗橋」と称した。元禄4年(1691年)に徳川家綱が湯島聖堂を造営し、孔子の故郷である中国の魯の国昌平郷にちなみ、昌平橋と名乗るように命じた。



⑨善国寺

文禄4年(1595年)、池上本門寺第12代貫主である日檀上人により、馬喰町に創建され、寛政5年(1793年)には現在地へ移転した。本尊の毘沙門天は江戸時代より「神楽坂の毘沙門さま」として信仰を集めていた。



Walking Course

⑪JR「東京」駅
東京の表玄関ともいべきターミナル駅。プラットホームの数は日本一多い。ここが今回の旅の終点。



①JR「新橋」駅

明治5年(1872年)、当駅と横浜駅間に日本初の鉄道が正式開業する際に起点駅として開設された。C11形蒸気機関車が保存されている通称SL広場を出発し、外堀通りを虎ノ門方面へ。



③マッカーサー道路

東京都心の新たな大動脈となる環状2号線の新橋-虎ノ門間(約1.4km)が開通。同区間は、終戦直後の1946年に都市計画が決定され「マッカーサー道路」と呼ばれてきた。車道両側に最大幅13mの広い歩道が整備され、オープンカフェなどが立ち並ぶ予定。



④日枝神社

文明10年(1478年)、太田道灌が江戸城築城にあたり、鎮護の神として川越山王社を勧請したのが始まり。日枝神社とは、山王信仰に基づいた比叡山麓の日吉神社から勧請を受けた神社の社号でもある。

快汗ウォーキングコース

虎ノ門、赤坂見附、市ヶ谷を通り飯田橋、昌平橋へと続く外堀通りをめぐる半日コース

②金刀比羅宮

万治3年(1660年)、讃岐国丸亀藩主であった京極高和が芝・三田の江戸藩邸に金毘羅大権現を勧請し、延宝7年(1679年)に現在の虎ノ門に遷座した。敷地内には虎ノ門琴平タワーがあり、社務所や神楽殿といった施設と一体化している。

